

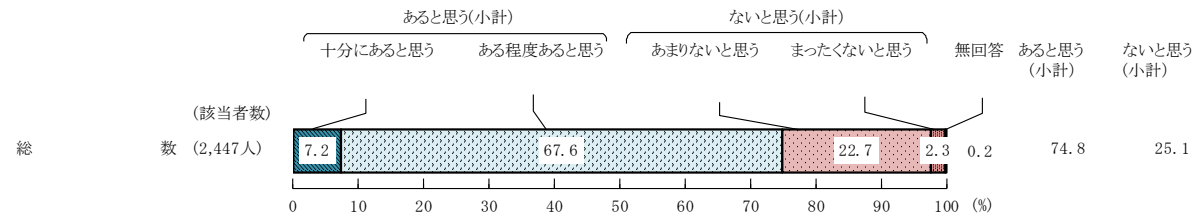
8 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に関する知識

安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思うか聞いたところ、『あると思う』と回答した人の割合が 74.8%（「十分にあると思う」7.2%+「ある程度あると思う」67.6%）、『ないと思う』と回答した人の割合が 25.1%（「あまりないと思う」22.7%+「まったくないと思う」2.3%）となっている。（図 8－1）

問 19 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか。この中から 1 つ選んで○をつけてください。

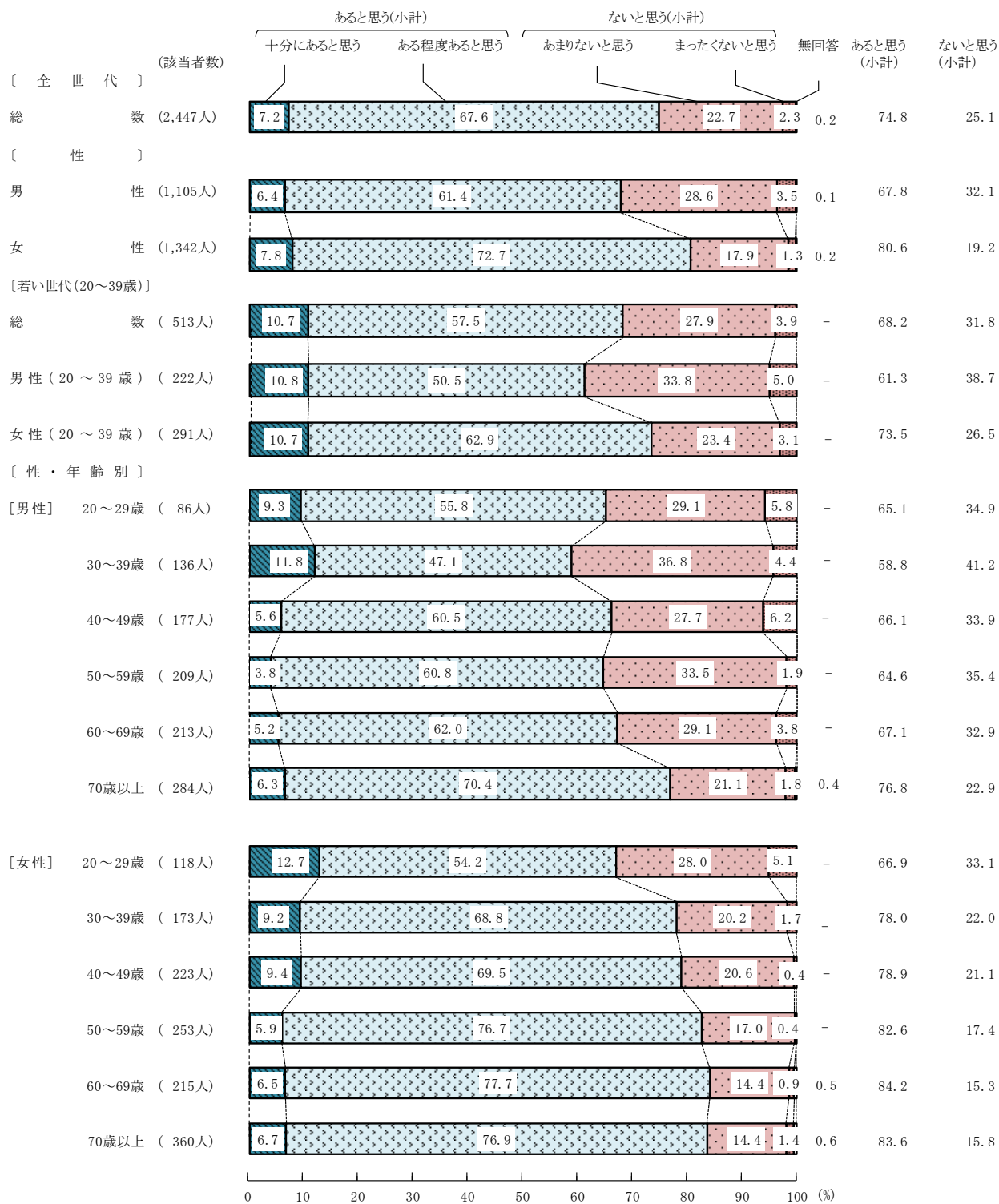
図 8－1 食品の安全性に関する知識



食品の安全性に関する知識について、性別にみると、『あると思う』と回答した人の割合は女性で高く、『ないと思う』と回答した人の割合は男性で高い。

若い世代（20～39歳）の男性では、『ないと思う』と回答した人の割合が高い。

図 8－1－1 食品の安全性に関する知識

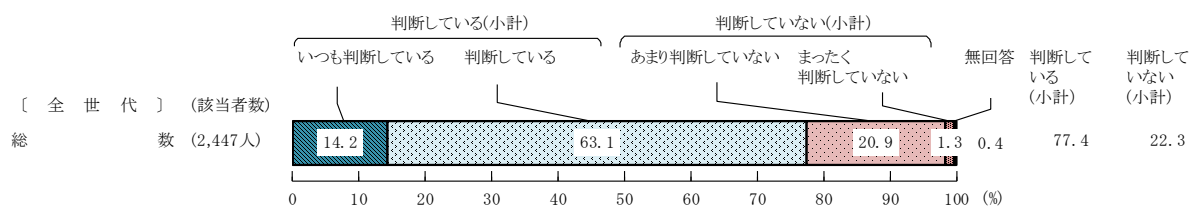


(2) 食品の安全性に対する判断

安全な食生活を送ることについてどの程度判断しているか聞いたところ、『判断している』と回答した人の割合が 77.4%（「いつも判断している」14.2%+「判断している」63.1%）、『判断していない』と回答した人の割合が 22.3%（「あまり判断していない」20.9%+「まったく判断していない」1.3%）となっている。（図 8－2）

問 20 あなたは、安全な食生活を送ることについてどの程度判断していますか。この中から 1 つ選んで○をつけてください。

図 8－2 食品の安全性に対する判断



「第4次食育推進基本計画」の目標
 ・食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合
 目標値（令和7年度）：80%以上

食品の安全性について、性別にみると、『判断している』と回答した人の割合は女性で高く、『判断していない』と回答した人の割合は男性で高い。

若い世代（20～39歳）の男性では、『判断していない』と回答した人の割合が高い。

図 8－2－1 食品の安全性に対する判断

